

金属による造形表現研究

芸術学部
生活環境デザイン学科
准教授

新 啓太郎



研究シーズの紹介

本研究は、金属加工における伝統技法や応用技法を駆使した高い意匠と用途性並びに鑑賞性を兼ね備えたクラフトデザイン作品・オブジェ作品及び、それらによる空間表現の提案に主眼を置いている。作品や商品への伝統技法の活用は高価かつ、容易に触れられないといった特別な環境での活用や保存が求められることが多いが、精緻な作りでありながら比較的たやすく日常生活での活用も可能なアイテムとして昇

華し提案した作品であり、量産品・工業製品とは違い、何気ない日常生活に彩りを添える一つ一つ手作りの小・中量生産作品である。これらの技法を活用した、機械加工では成し得ない手作りでありながら精緻な作りと、それらを飾る展示什器等、使用頻度が高く日常生活へ取り入れやすいアイテムによる空間表現研究をおこなっています。



金属・ミクストメディア加工技術

- あらゆる金属加工での作品及び治具等の制作が可能です。
- 数層の高い伝統技法を施したクラフトデザイン作品やオブジェを気兼ねなく活用でき、日常生活に彩りを添えます。



期待される活用シーン

- 機械ではできない味のある金属表現が欲しい。
- 空きスペースや空間に合わせたオブジェが欲しい。



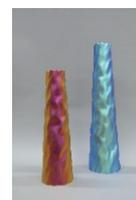
展示会場などの現地視察を行い、土地や建物などの歴史や謂れなどのリサーチからストーリーを作り作品による空間表現をおこなう。



- 小ロットで特別な要求も叶えてくれるところを探している。
- 機械ではなく手作りの風合いが欲しい。



要望に対し構想・デザインを練り、サンプル制作から完成まで one sectionでおこなって提供が可能。



その他の研究テーマ

- 空きスペースや空間に合わせた金属造形による空間表現研究。
- 金属の発色技法に関する研究。
- 現代における伝統技法の簡略化に関する研究。
- 日常生活で活用するクラフトデザイン製品に関するデザイン並びにオブジェ等の制作研究。